

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL. 17 2016年10月23日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

もみじまつり
成功に
ご協力を！

山本陽子議員の活動
山本陽子議員の活動
山本陽子議員の活動



2016年度京都市9月議会 決算特別委員会報告

9月21日から9月市会がはじまりました。市会はKBS 京都テレビのほかインターネットでも生中継・録画動画を見ることができますので、ぜひ一度ご覧ください！
以下、決算特別委員会での山本陽子の質問（要旨）です！



「住まいは人権」 市営住宅に住むすべての住民に、風呂釜の取替えを！ 〈都市計画局局別質疑〉

市営住宅の風呂釜については、平成24年から京都市の負担区分となり、現在、空き家住戸に対しては風呂釜の設置が進んでいます。ところが長年住み続けている住民が自費で設置した風呂設備については、京都市は取替えを負担する責任は認めていません。

今年、あらたに改定された国（国土交通省）の「住生活基本計画」（H18年成立）のなかでも、浴室は住宅の基本性能として含まれています。今こそ、自費設置の住戸も風呂釜の取替えを公費で！と求めましたが、担当理事者は、「限られた予算のなかで、耐震化やバリアフリーなど、命にかかわる施策を優先してすすめていく」と答えるにとどまりました。

しかし、住民によって扱いが異なるのは不合理です。8月31日、東京都住宅供給公社は、従来の方針を転換し、自費設置の風呂設備についても公社負担とすることを発表しました。15年にわたる要求運動で、1万筆を超える署名を提出し求めてきたことが実現したと、東京民報で報じられました。

京都市でも、まずは風呂釜を、次は浴槽も京都市の負担区分とすることを、粘り強く求めていきましょう！



学童保育の詰め込みやめて、学童保育職員の処遇改善を！ 〈保健福祉局局別質疑〉

京都市では、昨年からは学童保育の対象児童を小学校6年生まで拡大し、利用者が1800人増えました。小学校の空き教室や、地域の集会所、さらにはビルの地下室などに場所を広げて学童保育をおこなっています。

ところが京都市の運用を見てみると、児童館のすべてのフロアを必要面積の算定の基礎にしていたり、さらに登録児童数の70～90%を児童数の基準にしていたりと、要するに面積や職員配置を少なく算定していることがわかりました。

子どもでいっぱいの子童館にさらに自由来館の子ども、そして多い日には出席率を超えた参加。

さらに職員については、以前の自由来館専任の職員を2人から1人に減らし、学童保育と兼ねることを想定しているのですから大変です。省令では、最低基準を定めるとして、設備の向上を求めています。ただちに改善を求めましたが、当局は「予算がないので国に求める」と言うばかりです。

また、学童保育職員の労働条件は行政職1級の給料表に準じていますが、通常であれば適用される経験年数を加味した昇給がありません。その結果、学童保育職員は、勤続の40代の職員でも手取り20万円台前半、という低賃金！

子育て環境日本一というのであれば、子育て支援に携わる職員の専門性にも、「昇給」という正当な評価が必要であると求めました。



義務教育の私費負担の軽減を！

〈教育委員会局別質疑〉

子育て中の親にとって、教育費の負担は年々高まるばかりです。義務教育期間中でも毎月数千円～1万円程度の私費負担があります。

京都市は現在、独自の教育プログラムとして、小学校3年生から中学校3年生まで、〈自学自習の習慣化〉を身につけるための「ジョイントプログラム」という自己採点式テストをおこなっています。しかしそのテスト教材は、半額が保護者負担となっています。

そこで私費負担の判断基準を市に問いました「①本人の所有物となる。②本人の受益になる」の基準で判断される、と言います。しかし、教育というものが本人に返っていくのはいわば当然。そんな判断で私費負担がこれからも広がるなら、大変なことです。

ちょうど奨学金問題を考える集会があり、そのなかで、「OECD先進諸国では、教育の受益は社会に還元されるもの、という考えに基づいて、教育費は公費負担率が高くなっている」という発言がありました。日本では、教育が「個人受益論」「保護者負担論」の立場にたっていて、それで、高すぎる学費を払えない奨学金問題がこまできたのだ、という報告でした。

義務教育の私費負担の考え方からも、日本の遅れた教育観を垣間見ることとなりました。

お友達
思いに育
つてくれ
たことを
嬉しく思
いました。



保育園年長で今年最後の保育園の運動会をがんばった息子君は、鼓隊で大太鼓をつとめました。家では見たことのない真剣な顔で、先生の指揮を一生懸命見ながら太鼓をたたきます。隣のお友達に、「動くんやで！」と、とっさに声をかけたり、しっかりとがんばる姿に成長を見ました。最後の対抗リレーでは同じ組のお友達がこけてしまい負け。でも、こけたお友達のことを、まわりに「悪く言うたら、許さへん！」と言っています。

それぞれの運動会

運動会シーズン真っ盛り！小学校、保育園、区民運動会と運動会が続きます。

お姉ちゃんは、マイペースで低学年の運動会を楽しんでいます。前日からかなりテンション高かった！かけっこの競争では、走っている途中で体操服が上がっているのが気になり、お尻を覆うように服を下げながら走っています。そら、3位になるわ……（笑）

